

北陸中日新聞 かほく北販売店 麻生新聞店 〒929-1215 かほく市高松コ7-1 TEL 281-0856 FAX 214-5207 Mail: hamanasu417@gmail.com



携帯フォトコンテスト5

内容 お気に入りのデジタル写真を、データにて募集。テーマは自由。「笑える〜」「なんでこうなるの!」「美しい!素晴らしい!」「か〜わいい!」「うむむ」「見て見て!」「かほく珍百景に登録」など、撮影にまつわるエピソードや一言コメントなど大歓迎。

賞典 <大賞-1名><優秀賞-2名><部門賞-若干名>
※副賞賞品(かほく市商品券ほか)贈呈

審査 当店スタッフ

審査基準 撮影の技術を競うものではありません。氏名を伏せて作品を審査、独断の「いいね」が多かったものに大賞、次点に優秀賞、様々な視点から部門賞を設定します。



応募方法 「携帯フォトコンテスト応募」と明記の上、作品(3点まで)、お名前(紙上匿名可)、ご住所と共に、右上当店アドレスまでメール送信お願いいたします。

※メール添付の方法など不明な方は、ご連絡を。

※携帯からダイレクトでご応募できる楽ちんQRコードはこちら↓

締切 令和7年10月12日(日)

発表 本通信 11月号(11月10日 発行予定)

備考 加工・修正のない未発表のオリジナル作品



傾向と対策(ご参考までに)

- ◎パツとひと目でわかるもの、が共感を得やすいようです。
- ◎タイトル付きのほうが、票が入りやすいようです。

これまでの受賞作は、[はまなす通信.com](http://hamanasu.com)にてご覧頂けます

なお聞にみる蕾④

戦後80年 節目の年に
川柳人鶴彬の願いは今



鶴彬の思いを受け止め、今何ができるのでしょうか?

生来の気の短さから、毎日小さな戦争を繰り返している身には、世界の平和を願う資格が、まずありません。また、世の不条理、理不尽さを感じても、相手が大きすぎると、振り上げた拳を力なく降ろしてしまいます。若い頃の気力がなくなってしまったのですね。

困ったなと思っていたところ、「これならできるかも?」の情報を見つけました。

鶴彬の「鶴」にちなんで、たかまつまちかど交流館で千羽鶴を折る催しがあるのです。主催は例の顕彰する会の皆さま。今年に入ってから月2回ペース(基本第2土曜日午後1時半から4時まで、飲み物代400円必要)で開催され、能登半島地震の仮設住宅へ完成品を届けたりもされているようです。折り紙は会で用意されています。どなたでもご参加頂けるとのこと。

今まで作られた折り鶴を、まちかど交流館でいつでもご覧頂くことができます。それはまあ見事なものです。たくさんの手と思いがあって、これだけのことができるのだな、と光のようなものを感じました。あえて言葉にするなら「希望」でしょうか。「折り鶴に寄せて」との詩、また「折り鶴通信」も、置かれていましたよ。

次回開催は8月23日(土)1時半から。お問い合わせはまちかど交流館282-5760または顕彰会 遠田様090-3888-8838へ。

(本通信発行前の9日に参加し、禎子さんの「原爆の子」の紙芝居を見ているはずの 浜防風)

※シリーズタイトルは 鶴の代表作の一つ「暁を抱いて闇にみる蕾」より

《ひとことコメント募集!!》



葉書・FAX・メールにて当店まで。コメントお寄せ頂いた中から2名に、かほく市商品券を差し上げます。

締切は8月21日(木)

今月のお題は「花火」。もちろんお題無視(笑)のお便りもOKです。

※なお紙面の都合による、通信掲載時の省略・抜粋などをご了解くださいませ。

読者さんからのおたより 前号お題「海」

☑子供の頃の話。高松の海へひざ下まで入って、家族で貝取りをし、楽しかった思い出と、海からあがると足にウジ虫がついていた恐怖の記憶もあります🐛 (高松 MAさん)

…ウジ虫、それは恐怖!ただ気になってネット検索しましたら、「フナムシでは?」とも。

北斎/広重大浮世絵展

9/19-10/5 石川県立美術館

お得な前売券、実は当店でも好評販売中。空前のオーダーが届いています!



Nona's Master's Voice

突然、妻が「FLAPPER CLUB の会員になった!」とカミングアウト。「何それ?」と訊くと「スタレビのファンクラブに入会した」とのこと。コンサートチケットを入手する最善の方法なのだとか…。

「スタレビ」は、スターダスト・レビューというバンドの愛称。スタレビとの出会いは、1981年7月23日。金沢で行われたアマチュア・バンドのイベント、『サウンド・キャンプ』の会場でした。ゲストとして、伝説のバンド BOWWOW と共に金沢シネマ・ピカデリーの小さなステージでの演奏を観たのが最初。デビューしたてのバンドでしたが、小気味の良い演奏で即座にアルバムを買いました。

スタレビのデビューは、アルバム『スターダスト・レビュー』、シングル『シュガーはお年頃』がリリースされた1981年5月25日。以来45年の活動で発表したアルバムは40作を超えています。

そんなこんなで、2025年7月21日(月)。学生時代からスタレビファンの妻と2人で富山、太閤山ランドへいざ出陣。キャパ1000人程の屋根付き野外劇場は、まるでライブハウスの趣き。周りを見ると見事に自分と同年代の観客で一杯。不思議な空間です(笑)。

1曲目から総立ちの演奏は、還暦を超えた身としては、前途に不安を覚えるスタート。なのに同世代の観客は、手拍子やら、曲毎のお約束アクションをキッチリ決めている。「負けてらんない!」と変なアドレナリンが出て、3時間のステージに大興奮。すっかり魅了されてしまいました。

お出掛けは、少し大変だけど、コンサート、美術展、映画などのイベントには、積極的に参戦したいと思う今日この頃です。

写真は会場入り口で配られた団扇。真夏のイベントには、変なアドレナリン以上に、存在価値あり!(苦笑)。(実はスタレビのボーカル根本要さんより丁度三ヶ月若い隣人)

